

会 議 結 果

会議名	令和5年度 第2回西尾市地域公共交通活性化協議会
日時	令和5年8月30日(水) 午後3時00分～午後4時20分
場所	西尾市役所 22AB会議室(2階)
出席者	西尾市地域公共交通活性化協議会委員15名 事務局2名 欠席：愛知県都市・交通局交通対策課 石屋委員、愛知県警西尾警察署 奥平委員、名鉄西尾蒲郡線応援団 鈴木委員、西尾市交流共創部佐久島振興課 服部委員
傍聴者	6名
議 事	<p>1 開会・あいさつ</p> <p>○事務局</p> <ul style="list-style-type: none"> ・あいさつ ・配布資料確認 <p>○松尾会長</p> <ul style="list-style-type: none"> ・この夏は急激な雨等で公共交通において大変なところもあるが頑張っていきたい。 <p>○事務局</p> <ul style="list-style-type: none"> ・委員の半数以上の出席により会議成立 <p>2 議題</p> <p>(1) 六万石くるりんバス停留所の移設及びダイヤ改正について(協議事項)</p> <p>○事務局</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料1—(1)～(3)により説明。 <p>○藤田委員(西尾市障害者福祉団体連合会)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・休憩時間のためにルートを変更しても問題ないのか。 <p>○事務局</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運転手の適切な休憩時間を確保する必要がある。 <p>○潮田委員(大興タクシー株)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・7便の乗降人数はどのくらいか。 ・道の駅にしお岡ノ山から一番近いバス停まで歩いてどのくらいか。 <p>○事務局</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度実績で乗車4名、降車8名。 ・10分ほどである。 <p>○松尾会長</p> <ul style="list-style-type: none"> ・7便の道の駅は現状利用が少ないが、今後公共交通と連携した取り組みなどはやりにくくなるが道の駅との調整はどのようか。 <p>○事務局</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道の駅から今回の変更について了承は得ているが、連携した取り組みについては特にない。 <p>○潮田委員(大興タクシー株)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・江原の到着が17時12分となっているが、もっと前倒しにした方がよいのでは。 <p>○事務局</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運行事業者と調整の上、決定している。 <p>○潮田委員(大興タクシー株)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・それは分かっているが、12分より前に設定しておけば例えば11分に到着してもすぐ出発でき

る。

○大竹委員（名鉄東部交通株）

- ・現在の実態として、休憩時間を確保できず次便に遅れが出るなど弊害が出る。そのため変更の必要があるのであって、今回の案で妥当だと思う。

○片桐委員（東伸運輸株）

- ・運行事業者として時間と場所がグラフで明確にしてご提示すれば分かりやすかったと思う。今後同様のことがあれば市と調整していきたい。

○渡辺委員（愛知県西三河建設事務所西尾支所）

- ・戸ヶ崎バス停について別図の道路管理者との協議日は8月7日が正しい。

○事務局

- ・訂正する。

（決議） 全員承認

（2）一色地区における公共交通のあり方に関する検討状況について（報告事項）

○事務局

- ・資料2により説明

○藤田委員（西尾市障害者福祉団体連合会）

- ・検討会は小学生や高齢者を集めたほうがいいのでは。

○事務局

- ・第1回検討会の中で、委員から検討会のメンバーだけではすべての課題や意見集約が難しいという声があった。小学生などは難しいと思うが、意見の集約方法を検討中である。

○松尾会長

- ・地域で考えた交通ということが重要。検討会の開催時間などの制約もあると思うがよい形で。

○稲垣委員（西尾市民生委員児童委員協議会）

- ・バス以外の交通サービスとはどのようなものが想定されるか。

○事務局

- ・現状では吉良地区や幡豆地区をメインに運行している「いこまいかー」が一つの選択肢だが需給バランスの問題もある。バスの運行形態のまま利便性を高めるものやデマンド交通などが考えられる。

○松尾会長

- ・いこまいかーは登録制で佐久島へ観光に来た市外の人は使えない面もあるので、そのあたりも考える必要がある。

（3）コミュニティバスにおける利用者属性情報の取得について（報告事項）

○小林委員（愛知県バス協会）

- ・入力による遅延の心配はないか。

○事務局

- ・導入後も事業者からヒアリングし無理のない形で行いたい。

○村松委員代理（愛知県タクシー協会、西尾交通株）

- ・乗降人数の多い路線では正確に押せるかやってみないとわからない。やりながら調整していく。

○稲垣委員（西尾市民生委員児童委員協議会）

- ・導入のメリットは。

○事務局

- ・のりつぎ券の利用数を把握することで、他路線からの乗り継ぎ利用の実態をある程度把握できる。また、定期券は通勤通学利用の数を把握できる。

- 大竹委員（名鉄東部交通株）
 - ・ボタンを押すこと自体は現状でもやっているの、負担はそこまで増えないとも思う。
- 松尾会長
 - ・負担になるようなら、何か取り組みをやった時の期間限定で収集し効果測定する方法もある。
- 稲垣委員（西尾市民生委員児童委員協議会）
 - ・のりつぎ券の発行器で発券枚数などは分からないか。
- 事務局
 - ・発行器自体には発券枚数をカウントする機能がない。
- 松尾会長
 - ・ロール紙の長さで推測はできるが路線別の利用数などはわからないので、発行器導入の際にも利用数が分かるとよいと言われていた。
- 大竹委員（名鉄東部交通株）
 - ・2つ以上の属性が重なることはあるか。
- 事務局
 - ・重複することはない。

(4) 名鉄西尾・蒲郡線における利用促進事業について（報告事項）

- 事務局
 - ・資料4により説明。
- 松尾会長
 - ・入賞作品100点掲示となっているのは、掲出できる数が100までということか。
 - ・掲出時期をずらして作品を入れ替えることは可能か。
- 事務局
 - ・その通りである。1編成あたり50作品までであり、今回は2編成のため100まで。
 - ・可能性はあると思うが掲出には費用が発生するため、名鉄と相談になると思われる。今回は2編成に増やしたため、拡充はされたと認識している。

3 その他

- ・第3回協議会開催日は11月末を予定。

4 閉会

以上